



「夢青果」の島袋賢人代表(左から2人目)と創業支援する平良貴洋氏(左)、中村まこと氏(右から2人目)、沖縄市の島袋勝博企業誘致課長(右)14日、沖縄市中央のスタートアップカフェエコーザ

“おしやれ八百屋”支援

沖縄振興開発金融公庫(川上好久理事長)は14日、沖縄市の創業・起業支援拠点のスタートアップカフェエコーザと連携して、4月に開業予定の青

沖縄市の起業拠点と連携

果小売業「夢青果」(沖縄市美里、島袋賢人代表)に創業資金1千万円の融資を実行すると発表した。県内金融機関が同カフェと連携して融資するのは初めて。同公庫と夢青果などの関係

者が14日、沖縄市中央の同カフェで記者会見を開いた。夢青果は契約農家と提携して有機野菜、規格外の野菜を仕入れ、安全・安心な青果物を低価格で販売する」と話した。県内大手スーパーで青果担当の勤務経験を持つ島袋代表は独立を考え、昨年8月にカフェを訪ねて創業計画作成の支援を受けた。カフェと連携協定を結ぶ沖縄公庫が計画を検証、助言して融資を決定した。公庫の平良貴洋中部支店業務第一課長は「創業計画を1人で作るの難しい。カフェの活動が広がれば、若者の創業ハードルは低くなり、金融機関も支援できる」と連携の意義を語った。

価格で提供する。店舗の一角でフレッシュスムージーを販売し、「おしやれ八百屋」として差別化を図る。島袋代表は「契約農家のメリットを生かして産地直送の新鮮な有機、規格外の野菜を



公庫、夢青果へ融資

沖縄市創業支援事業で初

沖縄振興開発金融公庫（川上好久理事長）は14日、夢青果（沖縄市、島袋賢人代表）

創業融資で会見した夢青果の島袋代表（左から2人目）ら関係者14日、沖縄市・スタートアップカフェエコザ

へ創業に関する融資を行ったと発表した。夢青果は、創業や起業を総合的に支援するスタートアップカフェエコザで事業計画の策定支援を受けている。沖縄市は沖縄公庫、琉球銀行、コザ信用金庫と「創業およびスタートアップ支援に

関わる連携・協力に関する協定」を結んでおり、今回の融資につながった。協定に基づく創業融資は、3金融機関で初めて。融資額は非公表。

夢青果は契約農家から有機野菜、規格外の野菜を仕入れて同業他社との差別化を図る。スムーズにも販売予定。島袋代表は県内大手スーパーで青果担当を務めた経験から起業を決意、2016年8月にスタートアップカフェエコザ

を訪ねて準備を重ねてきた。今回の融資は車両購入や店舗改装などの設備資金、仕入れと人件費などの運転資金に充てる。融資は2月16日付。

島袋代表は「起業には不明な点が多く、計画から資金までを相談できて助かった」と述べた。沖縄公庫中部支店の平良貴洋課長は「ITや小売りなど幅広い業種でワンストップの支援ができる」と話し今後の広がりを期待した。

平成29年3月15日

提供：沖縄タイムス社

無断での転用・複写等を禁じます